

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 235

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向けWebセミナー）  
第1回「自動車部品の製造工場における安全教育」（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の十分な教育ができずにお悩みの会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での5S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の4回連続のWebセミナーを開催します。

今回は、第1回「自動車部品の製造工場における安全教育」として、日常の生産活動において企業の礎と言われる「安全」について、工場で働く新入社員や若手社員の皆様には、最も基本的な事項として理解し身につけていただき、また、管理監督者の皆様には、法律上からの責務の重さを再認識していただくとともに、今後の安全で快適な職場の形成と人材育成のための社内教育の一環として、特に新入社員の皆様が参加する社内の集合研修としてもご活用いただくため、当センターの望月センター長の開講の挨拶に続いて、隅田技術コーディネーターが講師となりWeb形式で講座を開催しました。

- 日 時 : 令和6年4月10日(水) 13時30分～14時40分
- 場 所 : Web形式
- 参加者 : 55社/287名

The screenshot displays a web seminar interface. At the top left, a video feed shows a speaker, Mr. Nozaki, in front of a blue and white checkered background with logos. To the right is a title slide with a green cross icon, titled "自動車工学関連講座(新人・若手社員向けWebセミナー) 自動車部品の製造工場における安全教育". Below the title, it states the date "令和6年4月10日(水)" and the location "次世代自動車センター浜松".

The main content area shows three slides:

- Slide 5 (1. 「安全」とは何か？ 前書き):** Discusses the basic thinking of safety, stating that safety is not 100% and that risks are always present. It lists three key points: humans make mistakes, machines fail, and absolute safety does not exist.
- Slide 17 (3. 安全に作業するポイント(10項目) 安全に作業をするポイント！ (10項目):** Lists 10 points for safe work, including wearing clean clothes, positive attitude, following rules, maintaining 4S (整理・整頓・清掃・清潔), self-checks, proper use of PPE, and following standards in the workplace.
- Slide 35 (9. 職場に入ったら作業標準を正しく守ろう):** Explains the purpose and structure of work standards (作業標準表). It emphasizes understanding the knowledge, learning the methods, and accepting the role to ensure safety.

At the bottom right, a slide titled "6. 管理監督者の方へ 労働安全衛生の基本的な考え方" includes a flowchart (Slide 49) showing the relationship between laws (労働安全衛生法, 労働基準法, 労働組合法, 労働契約法), standards (安全衛生法, 労働安全衛生規則, 労働安全衛生令), and organizational responsibilities (事業主, 管理者, 労働者).

## 【参加者の声】

- ・ 製造業は危険が多く事故率も高いので、より気をつけようと思った。効率ばかりを優先せず、安全に気を遣い仕事に取り組みたいと思った。
- ・ 改めて安全の大切さを再認識した。また、ヒトはミスをし、機械は故障し、絶対安全は存在しないということを再度頭に入れながら、作業を行う。起こしやすいミスなどに関しても、改めて考えるきっかけとなる貴重な機会となった。
- ・ 様々なシーンでの包括的な内容で大変参考になった。物の扱い方や運搬の仕方など、ついでにやりがちな行動を改めるきっかけになった。
- ・ 具体例があり、新人以外の作業員にも、現状の作業を見直すきっかけとなった。管理者の心構えも再認識できた。
- ・ 言葉を知っていても、意味が曖昧な所があったので、割れ窓理論やハインリッヒ等を知ることができて良かった。
- ・ 安全に作業する方法、災害・事故の発生防止に向けた取り組みについてなど様々な安全について教えていただきとても参考になった。「人」が行う作業では、100%の安全は無く、常に危険が伴うことがわかり、意識することが大切だとわかった。
- ・ 入社したばかりで右も左もわからない状態でしたが、今回の講座を聞かせていただき、工場に入る上の基本的なことや守らなければいけない重要事項を知識として得られることができありがたかった。
- ・ 経験のある現場の危険な場所などを見つめ直す良い機会になった。安全用具の所持ももちろんのこと点検を事前に行うなど、自分自身の安全を再度考えたい。また、普段の作業からは想像できない「床面の油汚れ」、「エア残圧の危険性」など、シチュエーションとして存在するということを認知することができた。
- ・ 最初を知るべき安全のポイントが抑えられて、特にやってはいけないことを具体的に災害事例で示されていてわかりやすかった。
- ・ 仕事に対する心構え、準備から始まって仕事での服装保護具の正しい形、仕事での禁じ手を細かく説明され安全に対する重要性を再認識できて、大変参考になった。
- ・ 「100%の安全」というものは無く、常に「本質安全化」を進め続け、自分の身を守るということの認識ができた。また、10のポイントごとに、なぜ危険か、禁じ手は何かと具体的に理解することができた。なぜ安全対策をやっているのかという理由の理解が、対策を行い継続していくための裏付けとして大切なことがわかった。
- ・ 自分の安全を守るために心掛けることや行動など、例があることで分かりやすく、とても参考になった。また、安全を目指すためには、知識を身につけ、会社のルールに従い、仕事や作業をすることが大切だと思った。
- ・ 事例を交えた説明で理解しやすく、「本質安全」や「割れ窓理論」など、耳にしたことがなかった言葉を知ることができて、勉強になった。
- ・ 危ないことは分かっているけど、どこが、何が危ないのかを理解できていなかったが、説明を受け、理解できた。
- ・ 仕事をするに当たっての注意事項、守るべきルールは必ず守り、事故の発生を未然に防ぎながら、安全かつ効率的に作業することが重要であることを改めて確認できた。
- ・ 労働災害発生の流れや起こさないための行動、心構えなどを説明していただいたことで、普段の安全への意識がいかに大切なことなのかが改めて再確認できたことが、今後の安全につながっていくと感じた。
- ・ 今回の講義を受けることで、今一度安全について考える機会となった。自分の定常作業を振り返り、危険なところはないか、より安全な仕組みを作れないか考え、危険な点については改善を重ねていきたい。